

[講演テーマ]

看護 O S C E について

開催日 平成31年3月18日(月) 16:30～18:00
開催場所 看護大講義室(看護学科棟2階)
対 象 看護学科教員, 看護職員

[講師]

敦賀市立看護大学看護学部看護学科 吉川 由希子 教授

看護教育の質が問われてきています。質の評価は、構造—プロセス—(アウトカム)評価で成り立ち、アウトカム評価はDPにそった教育課程における学生の評価をいかにするかが重要です。また、大学評価は社会への説明責任にもなります。

社会からは看護学教育の質保証に重大な関心がよせられているところであり、大学は看護教育の質保証への取り組みが期待されています。また、2019年度を目途に、一般財団法人日本看護学教育評価機構が始動することに計画されています。大学のアウトカム評価は、教育課程の成果を公表する社会的責務ともなっています。

現在、看護学科では、次年度入学生からのカリキュラム改正案を検討し、科目達成レベル(コンピテンシー・マトリックス)を作成しました。これらの達成レベルをどう評価するかについても示唆を得ることができ、将来の卒業試験の在り方にも大変参考になるセミナーです。

本FDセミナーでは、OSCEの実践者・研究者の第一人者である吉川由希子先生を招聘し、**教育評価としてのOSCEについて**学び、新しいカリキュラムの評価としての総合評価(卒業時到達度評価)を導入するための示唆を得たいと思います。

吉川由希子先生のプロフィール

所属：敦賀市立看護大学看護学部看護学科教授

弘前大学大学院教育学研究科教育専攻修士課程修了、名寄市立短期大学講師、青森県立保健大学講師
札幌市立大学准教授を経て、2014年4月より現職。

OSCEに関する研究を多くされていて、下記に示す研究がある。

看護学教育に携わる模擬患者への継続支援についての検討, 吉川 由希子, 渡邊 由加利, 山本 勝則, 工藤 京子, 渚本 雅昭, 中村 恵子, SCU Journal of Design & Nursing 10(1) 49-57, 2016年

「最近話題の教育方法」ミニセミナー 小児看護の基礎教育と新人研修の活性化と実質化のために(第7回)

看護OSCE: 松浦 和代, 吉川 由希子, 三上 智子, 小児看護35(9) 1265-1269, 2012年

OSCE実施支援システムの開発と運用, 大淵 一博, 太田 晴美, 吉川 由希子, 松浦 和代, 樋之津 淳子
SCU Journal of Design & Nursing 6(1) 37-48, 2012年

【SP(模擬患者)を効果的に活用した教育デザイン】 SPを活用した参加型授業・演習の展開と効果 「援助的人間関係論」と「成人看護技術論」を例に, 吉川 由希子, 守村 洋, 工藤 京子, 看護人材教育 8(4) 87-94, 2011年

担当：松岡キャンパス学務室 教務(医学)担当

内線2142 E-mail: m-kyomu@ml.u-fukui.ac.jp

主催：福井大学医学部附属教育支援センター